



## 春の山は恵みどっさり 今年もわくわく探検隊

「四季折々のくずまきを親子で体感しよう」と、わくわくふるさと探検隊（町公民館主催）が本年度もスタート。第1回は5月18日、小学生や保護者など21人が山の達人・外久保篤雄さん（安孫自然塾主宰）から山菜や木の名前などを学びました。参加者は山菜採りにも挑戦。山の恵みをどっさり持ち帰り、町総合センターでみんなで料理した後は試食。参加した川原千明さん（葛巻小3年）は、「山には食べられる山菜がいっぱい。自分で採って自分で料理したのはとってもおいしかった」と笑顔で語りました。



「まるで傘みたい」と大きな秋田フキを掲げるわくわくふるさと探検隊



「伝統は私たちが守るぞ!」と、堂々と出演した葛巻高校郷土芸能部の皆さんと、番組のオープニングに登場の近藤勝彦さん（中）と桂川龍太郎さん（右）

## 葛巻はおもしろいぞ〜 テレビでどんと町自慢

夕方放送されるNHKテレビ「おぼんです」で、「私たちが町の自慢を紹介します」と多くの町民らが県内に向けて町自慢をしました。

番組の冒頭に飛び出したのは町の有名人二人。近藤勝彦さんと桂川龍太郎さんが、元気いっぱいになちなかの商店街マップと賑わい土曜市を紹介。町の駅、葛巻高校郷土芸能部、森林組合、そばやワインと次々に登場。くずまき高原牧場からの中継では、吉ヶ沢小学校の全校児童によるアイスクリーム作りやピザ焼き体験など、牧場の魅力をたっぷり、笑顔で伝えました。



町の駅では輪投げが人気

### 対戦成績

葛巻町	73.1%
和泊町（鹿児島県）	77.4%
苫前町（北海道）	74.6%
芝川町（静岡県）	64.6%

## 14年連続の金メダル

参加率も昨年を上回る73・1%

## 国際チャレンジデー

十四回目の参加となる国際チャレンジデーは五月の最終水曜日二十八日に行われ、対戦相手の和泊町とスペシャルチャレンジの苫前町には敗れましたが、芝川町には圧倒的勝利を収めました。

町内では、早朝から自治会や学校、事業所などでラジオ体操やウォーキング、軽スポーツなどに五千八百四十七人が参加。参加率七三・一％で昨年を一・九ポイント上回り、目標の七十五％まであと一歩まで迫りました。参加率六十一％以上が対象となる「金メダル」も十四年連続で獲得しました。

参加者は、楽しみながら心地よい汗を流していました。

早朝に行われた下町と城内小路自治会の玉入れ



さくら公園ではすずらん工房の皆さんがベタンクで和気あいあい



五日市小では長縄跳びに挑戦

## 異常発生したガの幼虫 自治会ごとに薬剤散布

5月10日、町中心部で一斉にガの幼虫駆除のため薬剤散布が行われました。

幼虫は、4月下旬から町全域で建物の外壁などに異常発生し、肌に触れて赤く腫れ上がるなどがゆみを訴える人も続出しました。手持ちの殺虫剤での退治は手に負えないと、町が薬剤を配布し自治会ごとに散布作業を実施しました。自治会員らは手分けをして、各家々の外壁などに散布。「これでひとまず安心!」とほっとした表情を見せていました。



中央公園の公衆トイレなどの外壁に薬剤散布する新町自治会の皆さん

## 傘寿を祝って懐かしく 米寿にも全員で再会を

昭和17年度葛巻国民学校（現在の小学校）卒業生の傘寿を祝う会が5月20日、グリーンテージで開かれ、町内のほか盛岡市や九戸村などから23人が駆けつけました。卒業後初めての再会となった人もいて、「うれしくて1か月も前から眠れない日々を過ごした」とエピソードを披露する人も。招待を受けて出席した觸澤義美副町長は「みなさんお達者で何よりです。これからもお元気で町のためにご指導ください」と激励しました。次第に盆踊りも飛び出し太鼓に合わせて“痛いところ”も忘れ楽しい一日を過ごしました。「米寿にもみんな揃って再会を」と誓い合いました。



まだまだ元気な80歳。傘寿を祝う会に出席した皆さん